

慢性眼疾患の治療継続率向上を目的とするMaaSを活用した患者サポートプログラム（ノバルティスファーマ株式会社）

実験の概要（100字程度）

患者の通院負担を軽減し、治療継続率向上、自律的な地域生活への参画に繋がる、地域特化型移動サービスの提供を目指し、今年度は視界の確保に課題があり、移動困難が想定される慢性眼疾患患者を対象に、情報配信及び配車予約・送迎を提供する。

協議会の構成員

- ノバルティスファーマ株式会社(全体調整、企画立案)
- 千葉市(千葉市の各関係団体調整)
- MONET Technologies株式会社(システム開発、広報戦略)

MaaSの提供により解決したい地域の課題

近年、高齢者の慢性疾患の治療継続率の低さが問題となっている。主要因の一つとしては医療アクセスの悪さが挙げられるが、患者はこのアクセスの問題と疾患重症度に起因する“身体”の課題だけでなく、“知識”、“心理”の課題が複合的に組み合わさることで、治療中断に至っていることがわかった。

千葉市の高齢者への調査でも、通院回数が不足している理由としては公共交通機関の不便さや家族に依存した移動手段しかないことが挙げられており、高齢者向けのタクシーやバス路線の新設・拡張を望む意見も多い。

交通手段と連携するサービス

- ノバルティスファーマ株式会社（慢性眼疾患啓発情報を配信）
- 医療機関（次回診察予約と併せて次回通院時の配車予約サポートを実施）
- 各種協賛企業（店舗利用が可能なクーポン等を配信）

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

数値目標を設定し、検証する項目は以下の通り

- 実証実験の参加者数 目標値：85名
- 実証実験期間の利用回数 目標値：2回以上

実験内容

- 提供内容：通院及び通院時の立ち寄りにおけるオンライン配車予約・送迎サービス、慢性眼疾患啓発情報の配信、地域協賛企業の情報配信(クーポン配信等を検討)
- 実施期間：2020年9月～12月の4か月間
- 対象者：千葉市内の医療機関に通院している慢性眼疾患患者
- 対症地域：千葉県千葉市
 - ※協力施設は中央区内の医療機関を対象とする想定
 - ※オンデマンド交通の配車エリアは千葉市全域
- 交通手段：オンデマンド交通（実証エリアで新規運行予定）
- 利用料金：実証実験時は配車予約・交通運賃、情報配信、共に無償
- 行動変容：自宅、病院、立ち寄り先へとドアtoドアで送迎してもらえるオンデマンドのモビリティサービスの提供により、患者の継続的な通院を可能にするだけでなく、無理な自家用車運転の減少や患者自身の自律的な移動が可能になることによる付き添い家族の自由時間の増加、通院のついで立ち寄りによる外出機会の増加といった行動変容が見込まれる。
- 先進技術：医療機関の診療予約機能や交通事業者との決済機能をはじめ、各分野でのデータ連携を見据え、標準化されたAPIの公開を予定
- 広報施策：実証実験の参加者募集のため、下記の実施を想定
 - ✓ 千葉市公共施設でのポスター掲示
 - ✓ 千葉市医師会を通じ、協力医療機関を募り、医師より対象患者及び付き添い家族へ案内
 - ✓ 介護施設／介護サービスにて、介護士より対象患者及び付き添い家族へ案内
 - ✓ 慢性眼疾患患者団体を通じ、対象患者へ直接声掛け
 - ✓ 千葉市保健所を通じ、案内チラシ配布
 - ✓ 千葉市自治会・町内会を通じ、案内チラシ配布